

ステップ名称		カテ前	カテ後	カテ翌日
		1日目		2日目
知識・理解	術前	■不安の内容を表出できる		
	退院時			■退院後の留意点が理解できる
	検査前日	■検査の準備が出来る		
	入院時	■入院について理解している ・新規-評価基準		
	検査前	■検査に対する不安を軽減できる		
	第n病日			■問題なく退院できる
観察項目		胸部不快		胸部不快
		冷汗		出血（穿刺部）
		不安		腫脹（穿刺部）
		緊張		冷汗
		動脈触知（穿刺部）		不安
				睡眠
				緊張
				動脈触知（左足背動脈）
				動脈触知（右足背動脈）
検査結果				心電図モニター波形
検査	内視鏡			
	血液検査	 CAG	 ポータブル心電図	 採血
	放射線			
	生理検査			 心電図
	血管造影			
処方				
処置	看護	 フリー	 穿刺部安静について説明	 膀胱留置カテーテルは、回診後抜去
		 入院オリエンテーション	 心電図モニター	 栄養指導（家族同席の有無）
		 術前オリエンテーション	 帰室時バイタル測定	 次回再診予定表
		 胸部不快	 帰室後 2 h 観察	 上腕・大腿動脈穿刺の場合 シャント音確認 安静解除
		 冷汗	 帰室後 4 h 観察	 胸部不快
		 不安	 帰室後 6 h 観察	 冷汗
		 緊張		 不安
		 睡眠		 緊張
		 造影剤アレルギー患者・喘息の患者、確認		 睡眠
		 透析患者か、否か確認（点滴）		
		 感染性心内膜炎の高リスクの患者、確認		
		 DAPTの確認		
		透析		
注射				
食事		 エネルギー塩分コントロール食・常食	 カテーテル後はおにぎり食	 エネルギー塩分コントロール食・常食

安静度		 フリー	 帰室後1時間安静(トイレのみ可)、その後フリー(大腿動脈穿刺の場合心臓カテーテルプロコトールに準じて安静解除していく)	 フリー(大腿動脈穿刺の場合、医師回診直前に圧迫解除。回診後は医師に安静度を確認)
清潔		 入浴・シャワー浴		
指導	医師			
	看護			 退院時生活指導
	栄養指導			
	服薬指導			
看護問題				
観察項目				
確認項目				
リハビリ				
退院調整				
カルテ		 ネームバンドの装着(非アプローチ側)	 心臓カテーテルプロコトールに準じて圧迫解除していく	 医師回診時に穿刺部の最終確認
		 剃毛 ・橈骨動脈：穿刺部周囲のみ ・上腕動脈：穿刺部周囲のみ ・大腿動脈：臍～両膝まで	 カテ後、状況に応じて点滴抜針 (迷走神経反射があったPt・血圧が不安定なPt・腎機能の悪いPtは圧迫解除まで点滴継続)	 モニター中止
		 穿刺部位の動脈触知確認 ・橈骨動脈：左右確認 ・上腕動脈：左右確認 ・大腿動脈：左右確認、両側足背動脈確認(血管の走行に沿ってマーキング)	 モニター装着	 ビグアナイド剤は退院2日後より再開
		アンギオショーツ用意		 退院時服薬指導
		 ビグアナイド剤の造影剤使用時2日前より中止を確認		 退院療養計画書
		 アセチルコリン負荷試験の予定がある場合、Ca拮抗剤・硝酸薬が2日前より中止されているか確認		 情報提供書(必要時)
		 入院診療計画書		CD-Rの有無
		カテーテル検査および血管撮影に関する同意書(CAG)		ご報告書の有無
		経皮的冠動脈形成術同意書(PCI)		
		ヨード系造影剤を用いた造影検査に関する説明と同意書		
		 入院予約		
		 患者説明書		
		 着替え(検査着、アンギオショーツ)		
		 入室前に排泄を促す		
		 出棟時 点滴ライン20G針、20G適用輸液セット、三方活栓×2、逆流防止弁、エクステンションチューブ(75cm)×3		
		 テルモ生食1000ml 1袋 投与速度：100ml/h 穿刺部の反対側より手首周囲は穿刺不可		
		血管造影記録表		
		 CAG s t b PCI		

条件付き指示		発熱時カロナール		発熱時カロナール
		便秘時レシカルボン		便秘時レシカルボン
		不眠時レンドルミン		不眠時レンドルミン
		便秘時ケンエーG30浣腸		便秘時ケンエーG30浣腸
		便秘時ラキソベロン		便秘時ラキソベロン
		不穏時セレネース		不穏時セレネース
		便秘時センナリド		便秘時センナリド